

## 事前評価個表

整理番号	1
------	---

地域（地区）名	<small>そうや</small> 宗谷	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	<small>わかかない</small> 稚内市ほか9町村
事業実施期間	R3年度～R7年度（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は北海道の最北に位置し、東部はオホーツク海、西部は日本海、北部は宗谷海峡と3方を海に囲まれ、南部は上川、留萌及び網走地方に接し、北見山地が縦断している。さらに、日本海には利尻・礼文島の離島を有する。また、東部は徳志別川、幌別川、頓別川、西部はサロベツ川などの中小河川が宗谷を囲む海に注いでいる。</p> <p>本地区の総面積463千haのうち、森林面積は326千ha（森林率70%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は45千ha（人工林率29%）で、トドマツが53%、カラマツが9%を占めており、年齢構成はⅧ年齢級以上が60%と利用期を迎えており、今後、伐採量の増加が見込まれている。</p> <p>また、本地区内の林道延長は367kmで、公道等を含む林内道路密度は9.6m/haとなっており、このほかに林道の支派線として森林作業道が整備されている。</p> <p>本地区内の民有林人工林のうち18千ha（人工林の40%）がⅦ年齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、高齢化や後継者不足により森林所有者の森林施業への意欲減退や、造林事業の担い手不足により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林のもつ水源涵養<sup>かん</sup>や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を目指し、宗谷地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：18,309 ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：林道開設 延長14,291m</p> <p>総事業費：4,353,522千円（税抜き3,957,747千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.95</p> <p>（総便益（B）=31,448,961千円、総費用（C）=6,350,190千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用期を迎えている森林を多く保有し、今後主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：水源涵養<sup>かん</sup>や土砂流出防止等の公益的機能の高度な発揮の維持増進を図るため、適正な保育・間伐等の森林整備の実施及びそれに必要な基盤整備として路網の整備を実施する事業であり、有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

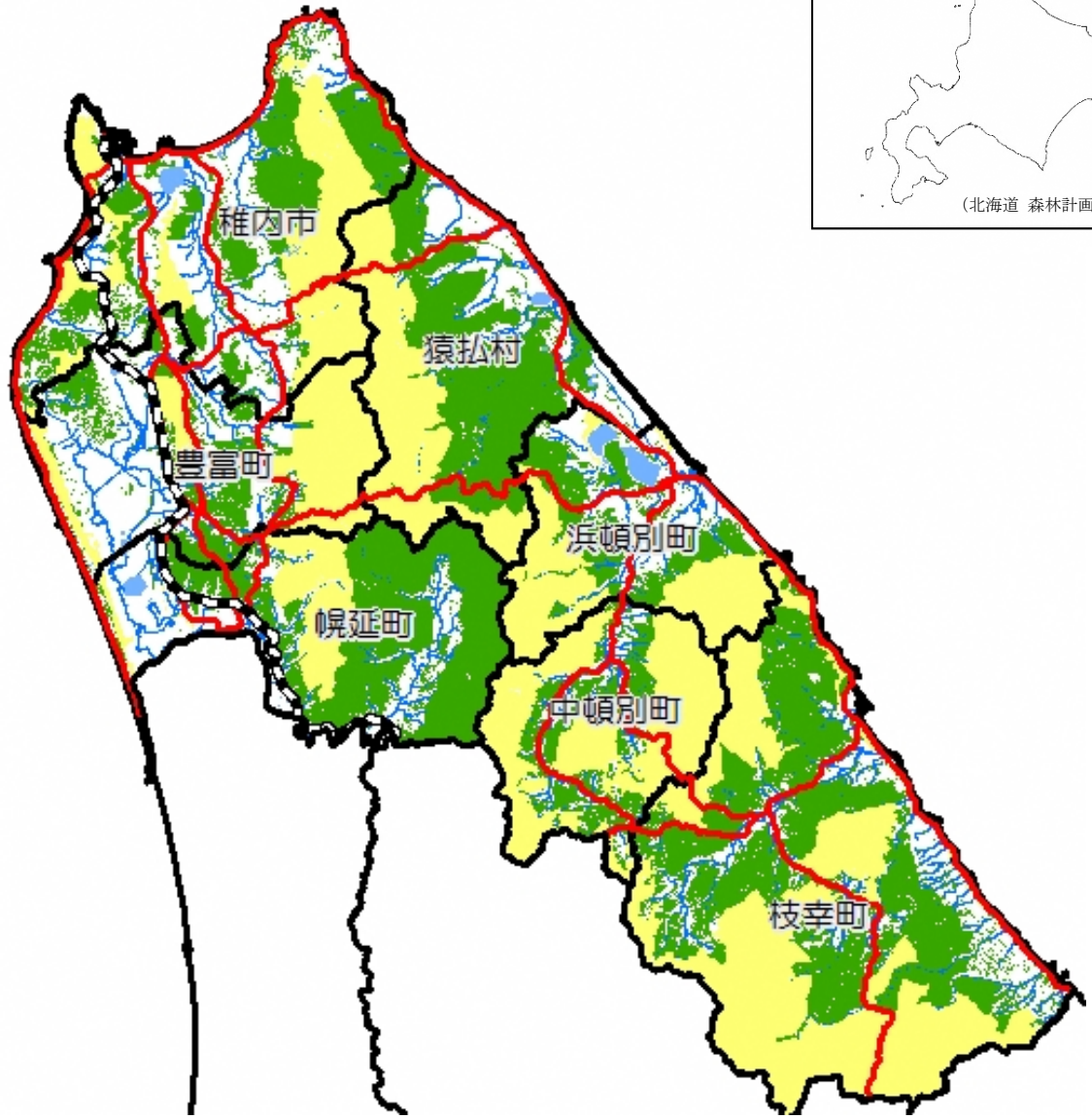
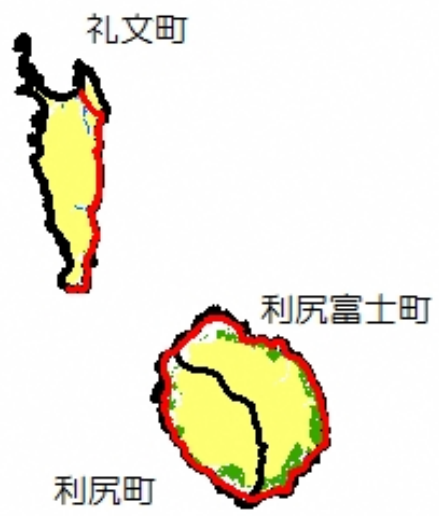
都道府県名：北海道







地域(地区)名：宗谷

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	6,518,625	
	流域貯水便益	2,162,823	
	水質浄化便益	7,872,797	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,169,778	
環境保全便益	炭素固定便益	2,496,148	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	102	
	木材利用増進便益	25	
	木材生産確保・増進便益	2,333,884	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	8	
	森林整備促進便益	894,771	
総 便 益 (B)		31,448,961	
総 費 用 (C)		6,350,190	
費用便益比	$B \div C = \frac{31,448,961}{6,350,190} = 4.95$		

# 森林環境保全整備事業 宗谷（北海道）



凡 例			
	国有林		森 林 計 画 区 界
	一般民有林		市 町 村 界
			主 要 道
			鉄 道